

SOLUTION SHEET

PRODUCT&SERVICE

ROOMINE

空間提案シミュレータ

『業務効率化』を実現し、『顧客とのコミュニケーションを高度化・最適化』を達成する、
VRビジュアルプレゼンテーションシステム』

CAD CENTER

商号	株式会社キャドセンター (CAD CENTER Corporation) 日本創発グループ(東証 JASDAQ 7814)連結子会社	CAD CENTER
設立	1987 年 10 月 2 日	
事業概要	3DCG 技術をベースにした映像、静止画、インタラクティブコンテンツ、 VR コンテンツ、シミュレータの制作・開発によるビジュアライゼーション環境の構築・提供。 上記にともなうモニタ、PC、各種センサー等のハードウェアの選定、設置、販売および保守運用。	
本社	東京都千代田区九段北 1-8-10 住友不動産九段ビル 14F	
大阪事務所	大阪府大阪市西区南堀江 1-4-19 なんばスミソウビル 7F	

人口減少・労働生産人口の減少など社会課題が山積する日本のビジネス環境において、長時間労働（投入時間）と売上（成果）が比例関係にあった時代が終わり、事業成長や企業の価値向上を実現する為には、DX推進（既存事業領域・新規事業領域における変革）が重要であると言われています。そして、DXというパワーワードを実業務に落とし込むにあたり欠かせないのが、『デジタル・データ活用』です。テクノロジーの進化により、企業が抱えている課題を解決する手段が格段に増えてきました。

キャドセンターでは、『業務効率化』を実現し、『顧客とのコミュニケーションを高度化・最適化』を達成する為のツールとして、VRを活用したビジュアルプレゼンテーションツール、『ROOMINE（ルーミン）』をリリース致しました。





当社は、高度な3Dデータモデリングの技術をベースに、CGアニメーション・映像、xR技術を使った体験型のビジュアライゼーションコンテンツの制作開発などを手がける会社です。

創業以来、建設・建築・都市計画分野を中心に、イベント・広告情報サービスなど、幅広い分野に向けてビジュアルソリューションを展開してまいりました。

昨今では、DXというキーワードに示される通り、あらゆる業界で「顧客アプローチ手法」や「情報発信・顧客管理」や「業務管理」などあらゆる業務領域における大きな(デジタル)変革が起きています。当社はこれまで培ってきたノウハウを活かして、業務効率化・業務改善に直結する新しいソリューションを複数開発展開しております。

リモートアプローチが当たり前になり、移動や対面コミュニケーションの価値変化が起こるなど従来のビジネス環境は大きく変わった。

多様な体験形態を提供する事が可能なVRのビジネス導入により、CX・EXの向上を目指す事例が増加。
「投資対効果向上」と「効率化によるコスト(時間・リソース)削減」を同時に実現するVRは、
様々な業態で投入され始めている

VRを活用する事で成果が期待できるビジネスシーン

- ・顧客接点増(オフライン&バーチャル拠点)
- ・体験型コンテンツによる接客効率や理解向上による成約率UP
- ・制作、開発スピード向上と意思決定迅速化
- ・リスクマネジメント:安全・危機管理
- ・情報・状況共有手段の最適化:バーチャル会議
- ・バーチャル接客 体験型ビジュアライゼーション
- ・従業員教育を効率的に(研修効率化・オペレーションフロー理解など)
- ・災害避難など有事対応:避難体験

ゲームエンジンを活用したVRライフシミュレーション 3D空間内で自由なシミュレーションを実現するVRツール

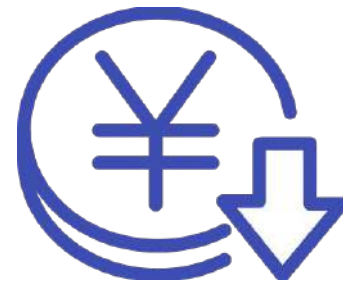
顧客向けプレゼンテーションにおける従来課題

ゲームクオリティの3Dシミュレーションツールを使用する場合、
高額なツール使用料と、専門性や、複雑な操作を覚える必要があった為、
費用面・リソース面において大きな負担が強いられるケースが一般的でした。

ROOMINE(ルーミン)は、
投下コスト(制作時間・専門性習得・対応リソース)を最小に抑えた、
ゲームクオリティのVRを誰もが簡単に安価に利用できる
新しいヴィジュアルプレゼンテーションツールです。

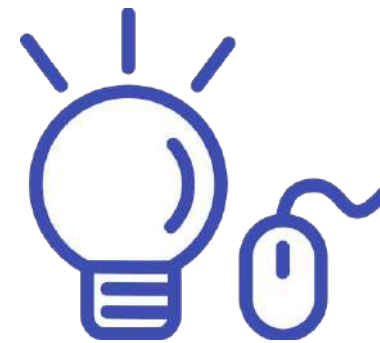
3Dデータを活用したリアルタイム空間ビジュアルプレゼンテーションシステム

ROOMINE（ルーミン）



安価な価格設定

ゲームエンジンを活用した
VRツールを、月額低額で
安価に利用可能



簡単な操作性

複雑な操作を排した
誰もが直感的に利用できる
プレゼンテーション

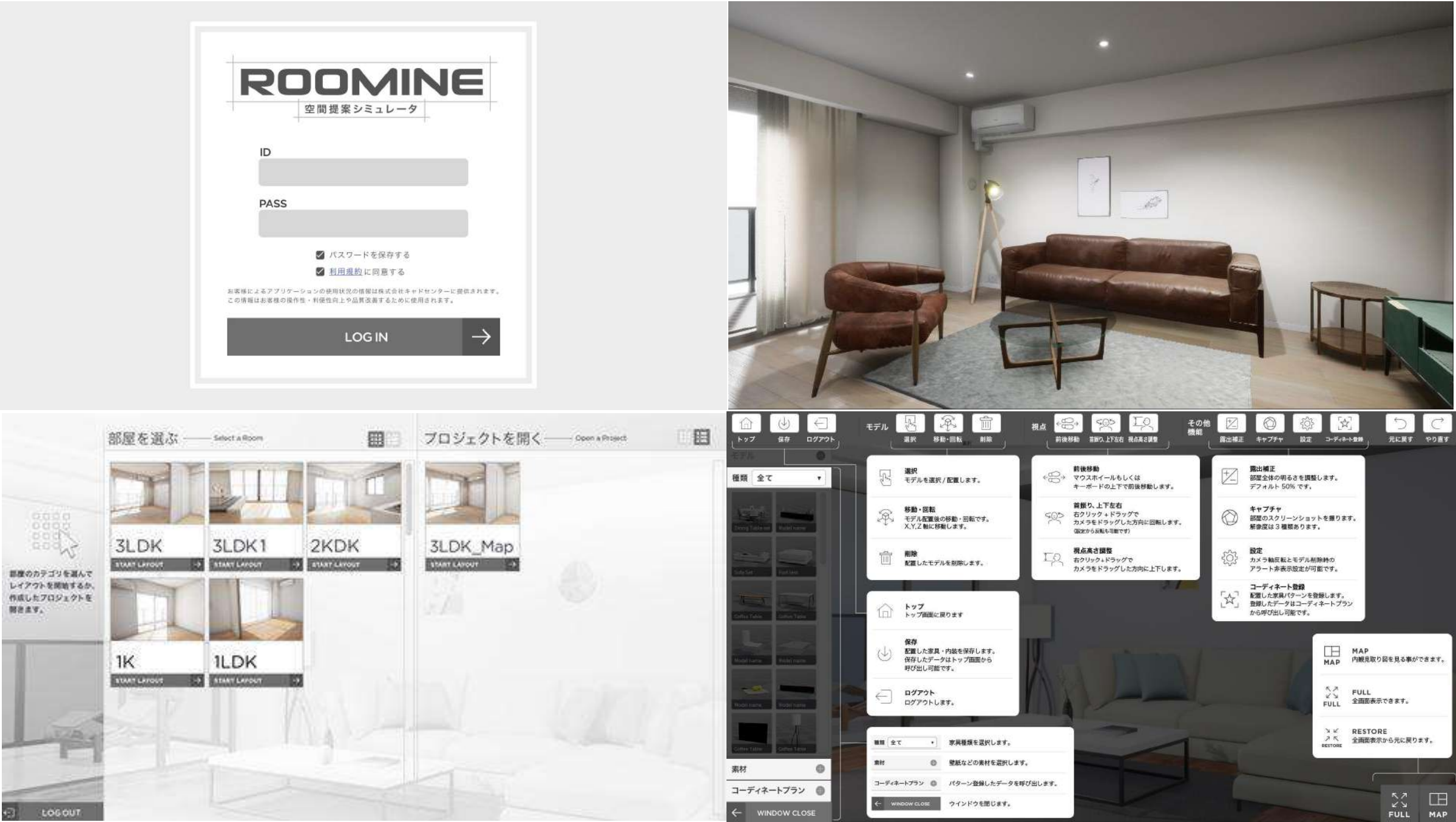


専門知識不要

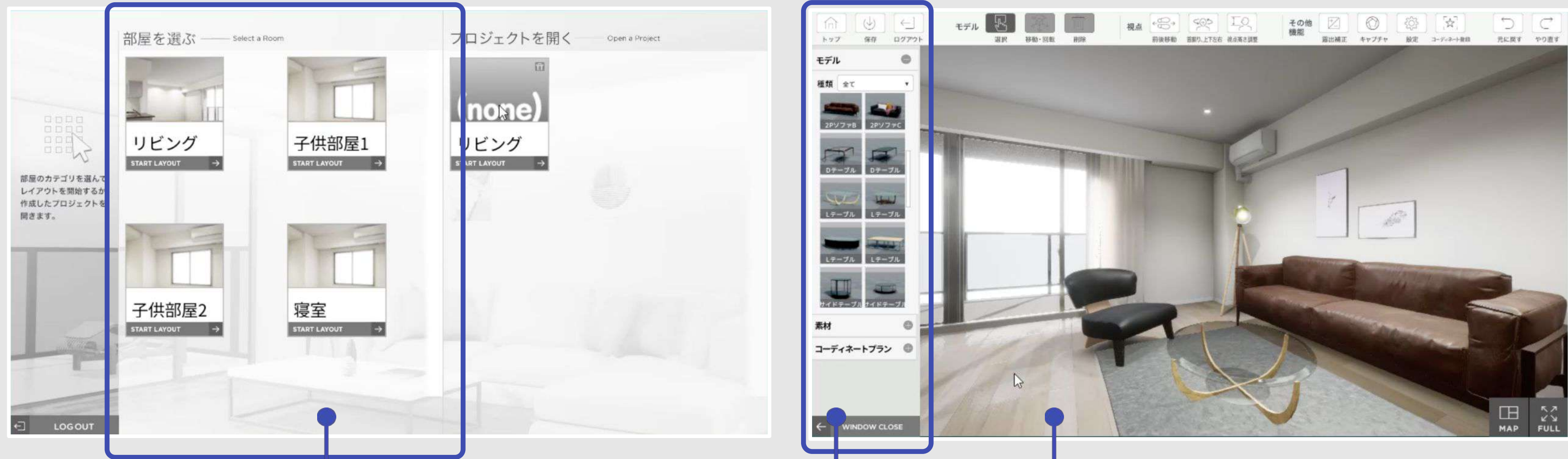
専門的な知識やノウハウ不要
住宅や空間設計に特化した機能

コスト削減（高額なツール使用費用）

人的・時間リソース不要（ツール活用の為の専門性・複雑な操作）



利用イメージ動画
<http://info.cadcenter.co.jp/DigiFes/2020/movie/cadcenter/roomine/>



操作フロー ▶

①居室/保存プロジェクト選択

シミュレーションをする空間を選択

②ライブラリ選択

登録ライブラリから自由選択

③シミュレーションビューワー

360°自由移動・視聴

④画像生成・保存

解像度選択

居室の広さや保存ファイルを選択。登録済みの各種ライブラリを選択しながら

3D空間内でシミュレーション×自由視点回遊





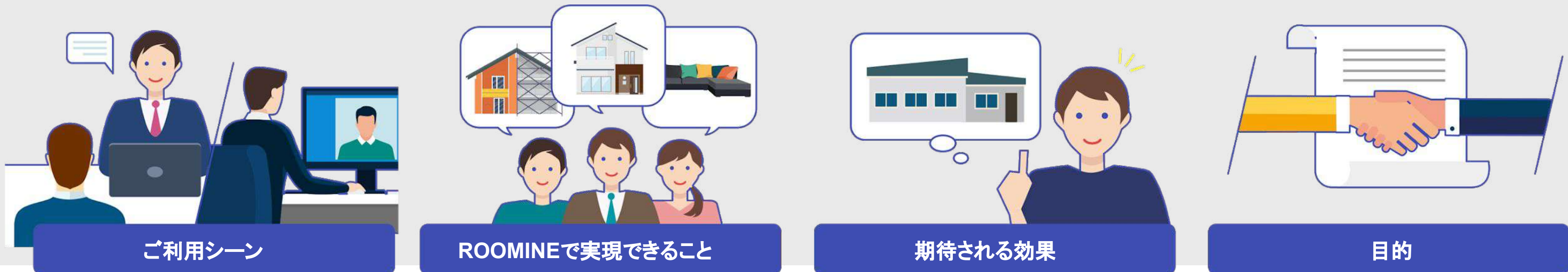
- 1. 豊富なライブラリ** 事前登録された、自由な掛け合わせが可能な 3D ライブラリ
- 2. データ利活用** 既存 3D データを変換・軽量化の上システム反映。データ制作コスト圧縮
- 3. リアルタイムコミュニケーション** 顧客ニーズに合わせた即時シミュレーション & 描画
- 4. 高精細描画** ゲームエンジンにも使われている Unreal Engine を活用したシステム
- 5. 副次制作対応** 解像度指定が可能なキャプチャ機能を活用したクリエイティブ制作

※ グレー項目については今後アップデート予定の機能

建築設計関連・住宅・ライフスタイル関連企業など、 リアル・バーチャルに関わらず空間演出や利活用に関わる企業群

- ・サッシ、シャッターなどの建材・建築資材を扱う住宅関連企業
- ・不動産開発、流通を手がける総合ディベロッパーなど住宅開発関連企業（専有部内シミュレーション）
- ・オフィス、商業施設開発企業（オフィスレイアウトシミュレーション、店舗レイアウトほか）
- ・システムキッチン、浴室関連など、住宅設備を提供している企業
- ・イベント、展示施設の設計提案、施工、運営を手がける空間価値創出に関わる企業
- ・上記以外で、3D空間に関わるプレゼンテーション業務を自社内でリソースを掛けて実施している企業

不動産開発・流通・仲介、不動産サービス関連事業、 住宅設備関連事業における住宅シミュレーション



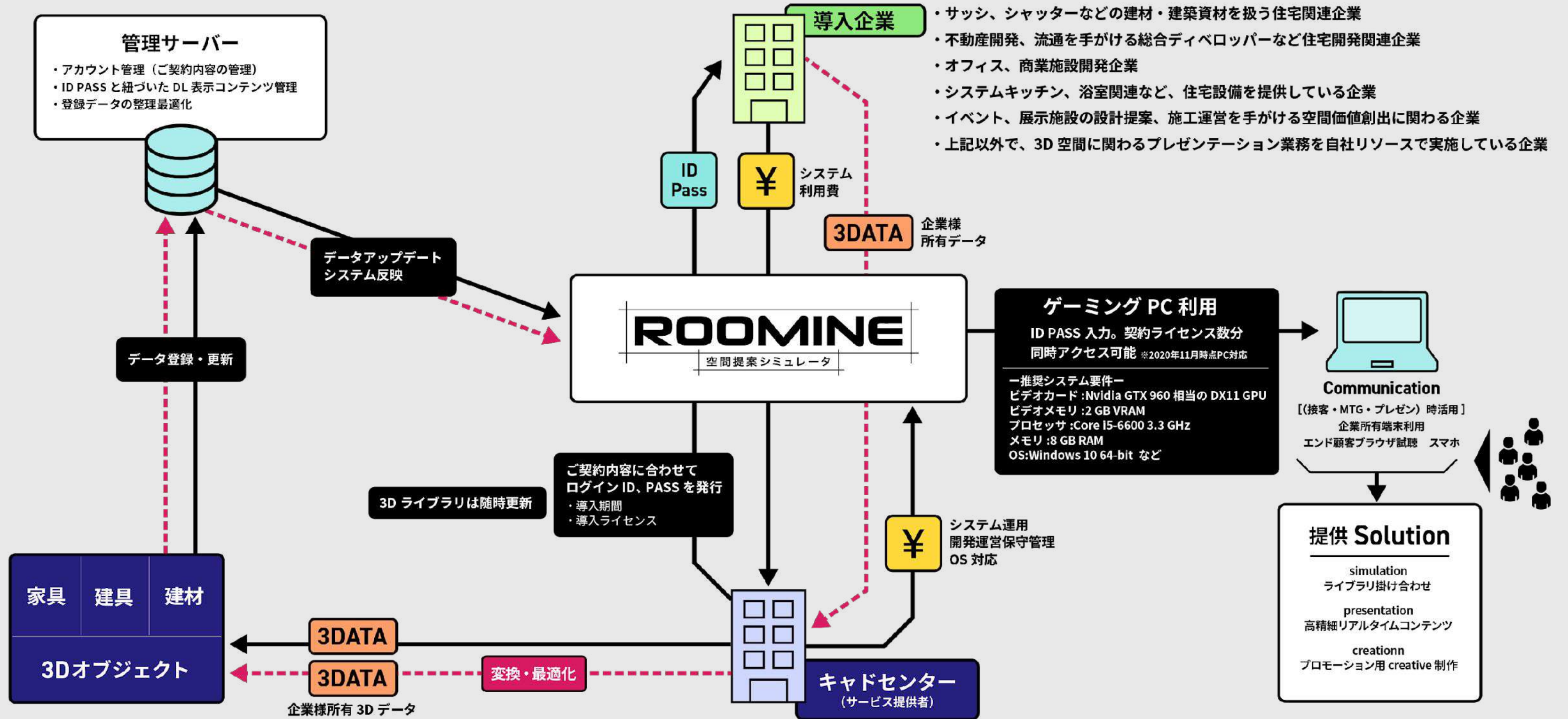
住宅購入や住宅設備導入検討に関わる接客時(対面・非対面)に利用

ライフステージや所有・検討状況毎に異なる「住宅に関するあらゆる顧客ニーズ」をVRを使って可視化。

例: マンション、戸建て購入時の専有部内におけるシミュレーション各種(オプション・面材建具・広さ確認・家具シミュレーション)入居後、住設機器の入れ替え購入や間取り変更などリフォーム時の利用

VR(リアルタイム3D)特有の高度な顧客対話『不明点解消、即時理解、情報伝達量が多、直感理解』

住宅の購入検討時、最終的に顧客意思決定に関わる商品理解の解像度を上げ、成約率向上



CONTACT

お問い合わせ先

<https://www.cadcenter.co.jp/contact/>

Marketing Communication Division



CAD CENTER